

有言実行研修に至る

この六月で満三十年。アイウィルは「低成長優良(?)企業」のモデルにふさわしい年月を重ねてきた。低成長の「コツ」は、儲ける、を考えないことである。研修という商品がいくつもあるがみな、お客様の「コツ」のやっつけられないか」という要望に、仕方なく、応えてきたものである。

教育の本質は自己啓発である

「国が人作り改革や「人材育成」を標榜するのはいいことである。資源のない日本のような小国の唯一の資源は人である。昔から日本は教育に力を入れてきた。教育勅語にも「一世その美をなせるはこれ我が国体の精華にして、教育の淵源また美にここに存す」とある。

日本が軍事強国として世界の大国と肩を並べることができたのも、経済大国として世界中から一目置かれる国になったのも、よく教育された人材とよく教育された勤勉な兵士や労働者が大量に存在したからである。これは大国といわれる米英仏やロシアと比べても遜色ない。いや技術者層などの人材の粒揃いという点では世界でトップクラスと言えるだろう。

ところで政府の人作りの具体策は学校の授業料の無償化、貧しい子への教育費の援助など、「そだへ」と拍手できるモノではない。教育はいつの時代もどの国も本質は同じである。首野綾子さんが書いている。「教育はまず親がするものだ。さらに学校が教えなかったら彼ら雇った企業が教えることだ。しかし教育の本質は『独学』である。独りでは心許なかったら書物がある。若い人たちは読書をしな

くなったから、貧相な人間になつた(産経新聞一月一日正論)

家庭で親が子に行うしつけ教育、学校で行う読み書き計算の基礎教育。これが教育の土台でここができていなければ会社がそれを行へしと首野は言う。独学つまり自己啓発できる基盤を作るのが家庭教育と学校教育、そして社員教育である。この基盤ができれば論文を読んで専門分野の知識を得ることができ、文学や歴史の本を読んで人間性を高めることもできる。

貧相な人とは人間性に欠ける人である。首野は言う。「ごく単純な人間性を失うと何とできない。政治はもちろん、会社経営も小さな商いも、芸術も遊びさえも楽しい結果を生まない」貧相な人ばかりなら国が貧しくなる。だから国は、教育に力を入れると言っている。そして教育の本質は自己啓発(独学)である。人を作る自己啓発(独学)ここにピントを当てなければ人作りは失敗に終わる。今のところ国の教育改革は成功の見込み0%、税金のムダ遣いに終わるのが目に見えている。ではどうすればいいか。立派な図書館をたくさん作っても本を読む人は増えない。読書をする人は読み書き計算の基礎能力が身につけていて自ら自分が見たい本を選ぶ人である。

「お客様に頼まれて尻を上げる」
思えばアイウィルが研修を始めたのも仕方なくであった。当初は社員教育用の録音教材や教育マンガを商品とする出版社だった。現在専務の島山が仲間に入れてくれと願った。島山は文章能力もあるがそれ以上に講師能力がある。そこで六カ月前管理者能力養成研修を始めた。島山がいなければ研修はしなかった。「十八カ月前経営者養成研修」は、平成の初めに今はなき(株)金馬社の高濱正明社長から息子二人に「後継者教育をしてくれ」と頼まれたのがきっかけである。二人には申し訳なかつたが、「こんな課題がいいのよ」と思いつきで宿題を出し、効果のないものは即切り捨て、(株)H&Kの亀井民治社長

経営管理講座 349 染谷和巳

包括する「統率力」というより大きい能力を伸ばすユニークな研修として現在に至っている。毎年一回九月に開催されている「泊三日経営幹部特別研修」もお客様の要望による。「数年で退職する六十代のベテラン社員に六カ月前研修はもったいない。せめて研修を受けてきた若手に水をかけるようなマイナスの言動はしてほしくない。同じ研修を受ければ若手を理解し応援するようになる。三日間の合宿研修だけで終わる研修をやってほしい」この研修は一社研修もあつたので昨年九月に三〇回を迎えた。そして「有言実行研修」。

大阪のユーザーY社長から、「合宿ではなく社内で月一回の一日研修を一年間しつてくれないか」と依頼された。初めてのケースだが引き受けた。島山専務と兼頭教育部長、坂口・浜中主任講師が中心になって中身を作った。年間十二回、毎月一回十時から十七時まで行うコースを「幹部パワーアップ研修」という名称で開始した。これは他社にも需要があるので、名称を「有言実行研修」と改めお客様に案内したところ、「こ

右肩上がり、十年二十年で中堅企業あるいは大企業になる会社もある。当社のように低空ヨタヨタ飛行は、ほめられたことではない。しかし、こうして三十年間生き永らえてきたことに少し価値があるのではないだろうか。ともあれ、Y社の「幹部パワーアップ研修」のおかげで新しい研修が誕生した。ありがとうございます。

有言実行研修は何をするのか。毎月一つのメインテーマを設け、集中講義する(たとえは一月のY社での第八回は染谷和巳が「上司が鬼とならねば部下は動かさず」のテーマで講義した)。それに基づく具体的な行動目標を研修生一人ひとりが口に出して発表し、紙に書き、一カ月前継続して実行する。その成果は次回研修でふりかえり、評価確認する。また、一つの同一課題について一回三〜四枚の自分の考えを記入したレポートを提出してもらい、意識の向上をはかる。この研修はアイウィルの研修修

毎月一回年間十二日間の研修

了生よりも未受講者の人間性を高めるうえで効果がある。個人主義で労働者意識が強く、礼儀や挨拶などどうでもいいう人が参加してもらうとより効果があがる。毎月一回、午前九時から十六時まで。主任講師と助手の二名で一年間実施する。社内での意思統一は社長の強い願である。強制や画一化を嫌う現在、個人の自由が最大限に許されていくのが難しい。有言実行研修は社長が社内で行う意思統一教育のバックアップに適している。